

ミュージアムパーク茨城県自然博物館



(表紙写真：富山かなえ)

ミュージアムパーク茨城県自然博物館は、県内最大の自然環境保全地域「菅生沼」のほとりに佇む、日本最大級の自然体験型博物館です。

菅生沼は南北に約5km、東西に約200～500m、総面積232haの細長い沼で、109科500種類を超える植物が生育、鳥類は約200種類も観察されており、首都圏でネイチャーウォッチングができる数少ない自然観察フィールドとなっています。

ミュージアムパークの敷地面積は約16ha、敷地内には屋内展示館と15haを超える野外施設が広がっています。屋内では隕石や鉱石、剥製などが多数展示されるほか、茨城県内の自然環境に関する展示も充実しており、宇宙や地球の歴史、地域の自然環境について詳しく学ぶことができます。また、野外施設では、菅生沼に隣接する豊かな自然環境の中で、バードウォッチングなどを楽しむこともできます。

1994年の開館以来、ミュージアムパークは「過去に学び、現在を識り、未来を測る」を基本理念に掲げ、魅力的な企画展示に力を入れてきました。

今年で開館24年を迎える同館は、長年多くの人々に親しまれ、年間来訪者は40万人、リピート率は約75%を誇り、今では「日本を代表する自然系博物館」として確かな地位を築いています。

この夏、ご家族・ご友人とともに、緑豊かな菅生沼とミュージアムパークで、遠く宇宙から身近な地域の自然環境まで、幅広く学んでみてはいかがでしょうか。



◆場所：茨城県坂東市大崎700

◆アクセス：

【車】常磐自動車道谷和原ICより20分

【電車】つくばエクスプレス「守谷駅」より関東鉄道バス岩井バスターミナル行き「自然博物館入口」下車

【企画展】第72回企画展

「火山列島・日本-大地との語らい-」
2018年7月7日(土)～9月17日(月・祝)

筑波総研株式会社 研究員 富山かなえ